



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年2月3日

上場会社名 日本ラッド株式会社

上場取引所 東

コード番号 4736 URL <https://www.nippon-rad.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大塚 隆一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画室長 (氏名) 土山 剛

TEL 03-5574-7800

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,251	2.2	73		68		82	
2019年3月期第3四半期	2,202	3.3	44		42		47	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	15.65	
2019年3月期第3四半期	9.16	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	4,204	2,564	61.0	485.17
2019年3月期	4,461	2,670	59.8	504.97

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 2,564百万円 2019年3月期 2,669百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		5.00	5.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	7.8	100	34.3	105	29.6	78	130.6	14.84

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	5,355,390 株	2019年3月期	5,355,390 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	69,556 株	2019年3月期	69,556 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	5,285,834 株	2019年3月期3Q	5,190,881 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用や賃金の増加に加え、消費税増税による駆け込み需要により景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、大型台風による被害や消費税増税後の個人消費の低迷、米中の貿易摩擦が長引くことによる世界経済への影響など、景気の先行きはいまだ不透明なものとなっております。

当社の属する情報サービス産業界においては、政府が発表した「世界最先端デジタル国家」の創造に向けたIT戦略において、行政サービス、市町村を含む地方公共団体、民間産業分野でのICTを活用したデジタル化をIoT（モノのインターネット化）、AI（人工知能）、クラウドコンピューティング、ブロックチェーン等の技術基盤で整備することにより、地域の活性化、企業活動の高度化、生産性の向上に向けた取り組みが始まっております。また、企業においては、人手不足の深刻化と働き方改革を背景に省力化・合理化を積極的に行う傾向にあり、ソフトウェア投資が拡大していくことが予測されます。

このような状況の中、当社は、AIやIoT分野において業務提携や販売提携を積極展開することで市場シェアの拡大を目指し、ノウハウの集積、業務効率向上、お客様への新しいソリューションの提案活動等に取り組んでまいりました。

この結果、当社の当第3四半期累計期間の売上高は、22億51百万円（前年同期比2.2%増）となりました。利益面につきましては、営業損失73百万円（前年同期は44百万円の損失）、経常損失68百万円（前年同期は42百万円の損失）、四半期純損失82百万円（前年同期は47百万円の損失）となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

#### 「エンタープライズソリューション事業」

各業種向けの派遣常駐型システム開発及び受託請負型システム開発案件において、継続受注の更改は堅調であるものの、新規受注案件の規模縮小や技術者の確保が困難だったことなどの影響がありましたが、「kintone」（サイボウズ株式会社が提供するビジネスアプリ作成クラウド）による基幹システムの売上は順調に伸びております。さらに、BIツール関連商品につきましても受注件数が増加したことにより、売上高は13億69百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

#### 「IoTインテグレーション事業」

昨年度、Advantech Co., Ltd. と業務提携したことにより、当社が展開するIoTプラットフォーム「Konekti®（コネクティブ）」と、当社が展開するWISE-PaaS及びSRP（Solution Ready Platform）ソリューションを用いて、インダストリアル（製造業）分野へ注力し、プライベートセミナーの開催やイベントへの出展を行い、その結果、新規案件と追加案件の受注件数が共に増加いたしました。また、医療機関向け自動再来受付システムや医療費自動精算システムの改元対応による受注増、自動車搭載セキュリティシステムのロイヤリティ収入等が堅調に推移したことにより、売上高は8億81百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は37億47百万円となり、前事業年度末に比べ3億21百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が2億73百万円減少し、仕掛品が98百万円及び原材料が13百万円増加したこと等によるものです。固定資産は4億57百万円となり、前事業年度末に比べ64百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が60百万円増加したこと等によるものです。

この結果、総資産は42億4百万円となり、前事業年度末に比べ2億57百万円減少いたしました。

## (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は6億6百万円となり、前事業年度末に比べ49百万円減少いたしました。これは主に買掛金が29百万円、未払法人税等が33百万円減少したことによるものです。固定負債は10億32百万円となり、前事業年度末に比べ1億2百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1億円減少し、長期未払金が2百万円減少したこと等によるものです。

この結果、負債合計は16億39百万円となり、前事業年度末に比べ1億51百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は25億64百万円となり、前事業年度末に比べ1億5百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失の計上および配当金の支払いによる利益剰余金の減少1億9百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は61.0%（前事業年度末は59.8%）となりました。

## キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して1億69百万円減少し、30億80百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、47百万円（前年同期比65.4%減）となりました。これは主に売上債権の減少による収入2億73百万円、たな卸資産の増加による支出1億10百万円、受注損失引当金の増加による収入13百万円、税引前四半期純損失67百万円によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用された資金は、88百万円（前年同期比27.8%減）となりました。これは主に業務提携先の転換社債型新株予約権付社債の取得による支出54百万円、有形固定資産の取得による支出10百万円、無形固定資産の取得による支出19百万円、名古屋事業所の移転にともなう差入保証金の払込みによる支出4百万円および回収による収入1百万円によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用された資金は、1億28百万円（前年同期は14億29百万円の獲得）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出1億2百万円、配当金の支払いによる支出26百万円によるものです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、本資料の公表時点において、2019年5月13日の決算短信で発表しました通期業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,250,850	3,080,937
受取手形及び売掛金	698,505	425,067
製品	1,430	980
仕掛品	32,075	130,282
原材料	7,996	21,042
その他	78,055	89,035
貸倒引当金	△279	△172
流動資産合計	4,068,633	3,747,173
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	9,550	10,239
車両運搬具(純額)	5,604	4,162
工具、器具及び備品(純額)	22,455	19,192
有形固定資産合計	37,610	33,594
無形固定資産		
ソフトウェア	30,431	43,859
その他	27,416	18,819
無形固定資産合計	57,848	62,678
投資その他の資産		
投資有価証券	167,213	228,123
その他	175,026	177,153
貸倒引当金	△44,697	△44,517
投資その他の資産合計	297,543	360,760
固定資産合計	393,002	457,033
資産合計	4,461,635	4,204,206
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	160,560	130,937
1年内返済予定の長期借入金	122,300	120,000
未払法人税等	42,660	9,231
賞与引当金	59,185	61,857
受注損失引当金	—	13,821
その他	271,483	270,869
流動負債合計	656,189	606,717
固定負債		
長期借入金	480,000	380,000
退職給付引当金	443,215	443,480
資産除去債務	2,161	2,008
長期末払金	209,959	207,485
その他	33	—
固定負債合計	1,135,370	1,032,974
負債合計	1,791,559	1,639,691

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,239,480	1,239,480
資本剰余金	973,222	973,222
利益剰余金	471,604	362,444
自己株式	△32,271	△32,271
株主資本合計	2,652,036	2,542,875
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,139	21,639
評価・換算差額等合計	17,139	21,639
新株予約権	900	—
純資産合計	2,670,075	2,564,514
負債純資産合計	4,461,635	4,204,206

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,202,290	2,251,284
売上原価	1,780,120	1,817,984
売上総利益	422,170	433,300
販売費及び一般管理費	466,595	506,569
営業損失(△)	△44,424	△73,269
営業外収益		
受取利息	38	3,238
受取配当金	807	2,601
為替差益	1,428	—
受取補償金	—	1,044
その他	509	498
営業外収益合計	2,783	7,381
営業外費用		
支払利息	626	1,968
為替差損	—	662
営業外費用合計	626	2,630
経常損失(△)	△42,267	△68,519
特別利益		
新株予約権戻入益	—	900
資産除去債務戻入益	—	553
特別利益合計	—	1,453
特別損失		
固定資産除却損	2	14
特別損失合計	2	14
税引前四半期純損失(△)	△42,269	△67,080
法人税等	5,297	15,651
四半期純損失(△)	△47,567	△82,731

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△42,269	△67,080
減価償却費	25,660	24,327
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4,153	264
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,874	2,672
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△285	△287
受注損失引当金の増減額(△は減少)	5,707	13,821
受取利息及び受取配当金	△845	△5,839
支払利息	626	1,968
受取補償金	-	△1,044
為替差損益(△は益)	△969	125
有形固定資産除却損	2	14
資産除去債務戻入益	-	△553
新株予約権戻入益	-	△900
売上債権の増減額(△は増加)	270,833	273,437
たな卸資産の増減額(△は増加)	△171,600	△110,803
仕入債務の増減額(△は減少)	16,271	△39,025
その他	39,359	△7,522
小計	142,209	83,577
利息及び配当金の受取額	845	2,651
利息の支払額	△1,222	△2,330
補償金の受取額	-	1,044
法人税等の支払額	△4,877	△37,518
営業活動によるキャッシュ・フロー	136,955	47,424
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,707	△10,276
無形固定資産の取得による支出	△12,559	△19,321
投資有価証券の取得による支出	△100,000	△54,709
差入保証金の差入による支出	-	△4,009
差入保証金の回収による収入	-	1,970
その他	△1,994	△1,949
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,260	△88,295
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△36,000	-
長期借入れによる収入	400,000	-
長期借入金の返済による支出	△14,550	△102,300
自己株式の売却による収入	169,432	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,338	△297
株式の発行による収入	933,300	-
配当金の支払額	△21,221	△26,247
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,429,622	△128,845
現金及び現金同等物に係る換算差額	969	△196
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,445,287	△169,913
現金及び現金同等物の期首残高	1,581,944	3,250,850
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,027,232	3,080,937

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変更があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	エンタープライズソリューション事業	IoTインテグレーション事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,427,193	775,097	2,202,290	-	2,202,290
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,554	44	2,598	△2,598	-
計	1,429,747	775,141	2,204,888	△2,598	2,202,290
セグメント利益又は 損失(△)	261,607	△22,976	238,630	△283,055	△44,424

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△283,055千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	エンタープライズソリューション事業	IoTインテグレーション事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,369,581	881,702	2,251,284	-	2,251,284
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,861	98	5,959	△5,959	-
計	1,375,443	881,800	2,257,243	△5,959	2,251,284
セグメント利益又は 損失(△)	230,111	3,875	233,986	△307,256	△73,269

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△307,256千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。